

令和8年度 ヘルステクニカル研修（滅菌管理） 開催要項

1. はじめに

日本赤十字社（以下、日赤）は、診療所 ERU、病院 ERU、赤十字国際委員会（ICRC）が運営する戦傷外科病院などに医療職を派遣してきた。外科的処置等を行うための医療機器滅菌業務に関しては、近年日本においては外注されるようになり、医療職、特に看護職が実際に滅菌業務を行う機会は激減している。一方で、国際医療救援の現場においては、主に滅菌室を管理する手術室看護師のみならず、すべての看護師が滅菌に関する業務を担う必要があり、限られた人材や資源、過酷な環境下における滅菌業務に関する知識・技術を有する看護職の増員が必要不可欠である。

そこで本研修では、国際医療救援の現場で実際に用いる高圧蒸気滅菌器を用いて、参加者が診療所及び病院 ERU 出動時における滅菌業務を理解し、実践できるようになることを目的とする。

2. 研修の目的

- 滅菌プロセスの知識を習得する。
- 器械類の滅菌前後の取扱いに関する知識・技術を習得する。
- 高圧蒸気滅菌器（ROBUSTEX 90L）を使用方法的知識・技術を習得する。
- 滅菌物の管理に関する知識を習得する。
- 滅菌室の管理に関する知識・技術を習得する。
- 日赤が保有する2台の高圧蒸気滅菌器の動作確認を実施する。

3. 日時

令和8年8月21日（金）10時～17時

4. 場所

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二赤十字病院 日赤愛知災害管理センター棟

5. 参加要件

以下いずれかの要件を満たす看護師、助産師、医師15名程度。※応募状況により書類選考いたします。

- 1) IMPACT（またはBTC）または保健医療 ERU（または ERU 研修）を修了し、国際救援・開発協力要員に登録されている日赤職員
- 2) 病院 ERU 実技研修を修了し、国際救援・開発協力要員（※病院 ERU 派遣限定）に登録されている日赤職員

3) 国際救援・開発協力要員に登録は済んでいないが、国際医療救援の現場での滅菌プロセスに関心があり、今後登録を目指す日赤職員

6. 研修プログラム

別紙プログラム参照

7. 参考教材

滅菌ガイドライン第3版 2020

https://www.osaka-med.jrc.or.jp/assets/pdf/magazine/sterile_guideline.pdf

8. 申込方法

所属施設の承諾を得たうえで、令和8年6月24日（水）までに、以下の URL または QR コードから各自お申込みください。

<https://forms.gle/1x4EXCS46cgMaW997>



9. その他

- 1) 参加の可否については、7月3日（金）までに所属施設あてに通知いたします。
- 2) 実技演習がありますので、軽装でお越しください。
- 3) 院内では原則マスクを着用してください。また、研修中は手指消毒の徹底などの感染対策にご協力ください。
- 4) 参加が決定した応募者に、事前資料をメールで送ります。事前資料をもとに講義を行いますので、原則配布資料はありません。自己学習し研修に臨んでください。
- 5) 宿泊は各自で手配をお願いいたします。
- 6) 昼食は各自でご用意ください。
- 7) 国際要員の研修参加にかかる旅費については、日本赤十字社支部・施設所属の方は国際医療救援事業交付金の対象となるため、追って申請・充当すること。なお、同交付金の旅費の扱いについては、日本赤十字社旅費規則に基づき支給すること。
（令和7年10月27日付人企第142号「日本赤十字社旅費規則の改正等について」参照）

担当： 大阪赤十字病院 国際医療救援部 国際救援課 （三浦、加貫） TEL: 06-6774-5111 (内線 2124) E-mail: imr@osaka-med.jrc.or.jp
--